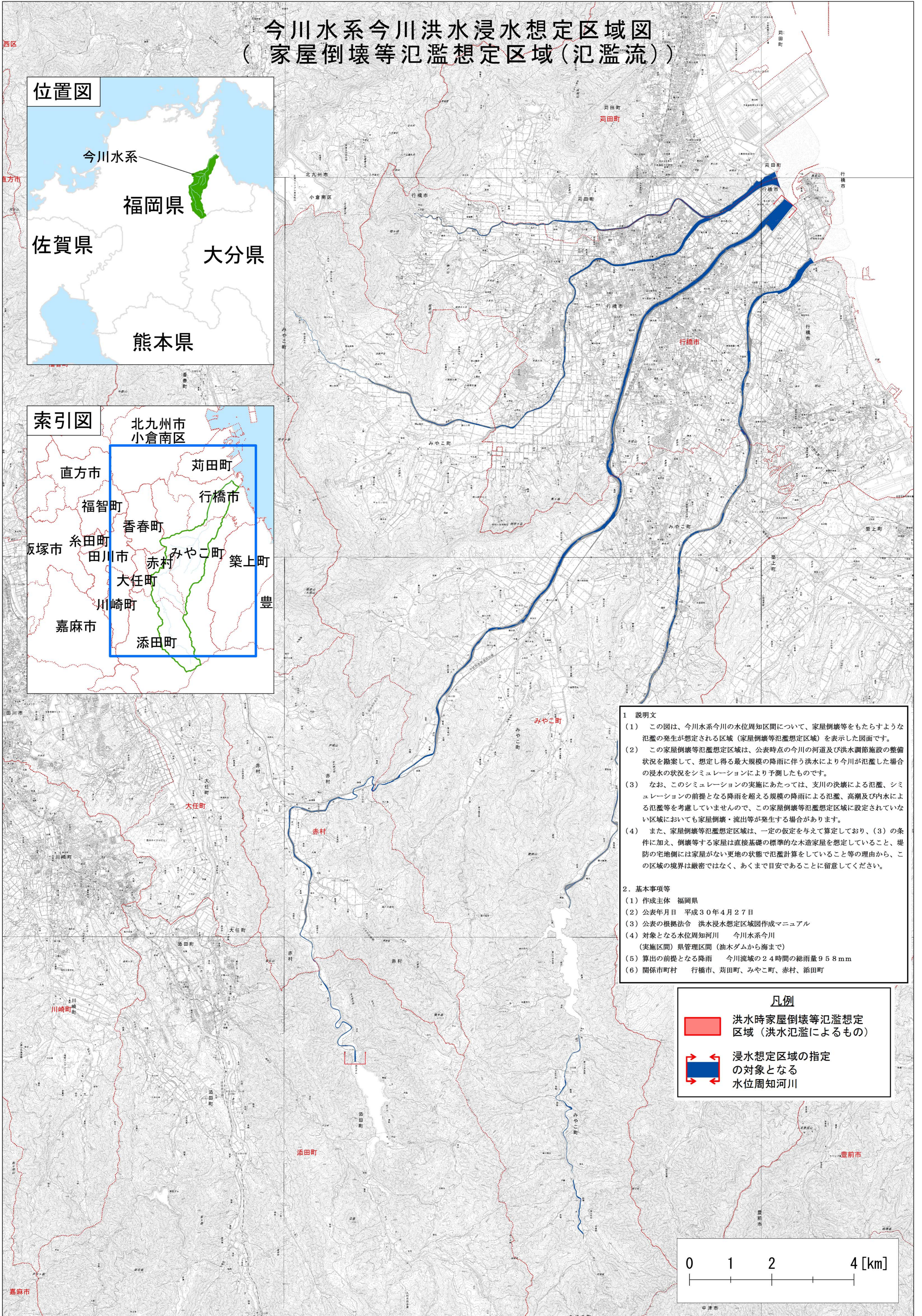


# 今川水系今川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

## 位置図



## 索引図



- 1 説明文
- この図は、今川水系今川の水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
  - この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の今川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により今川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に設定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
  - また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。
2. 基本事項等
- 作成主体 福岡県
  - 公表年月日 平成30年4月27日
  - 公表の根拠法令 洪水浸水想定区域図作成マニュアル
  - 対象となる水位周知河川 今川水系今川  
(実施区間) 県管理区間(油木ダムから海まで)
  - 算出の前提となる降雨 今川流域の24時間の総雨量95.8mm
  - 関係市町村 行橋市、荻田町、みやこ町、赤村、添田町

凡例

- 洪水時家屋倒壊等氾濫想定区域(洪水氾濫によるもの)
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

